

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して職員の配置数は適切であるか。	6		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	室内は児童にとってわかりやすい構造となっておりませんが、玄関等には段差があるため、児童が移動する際には職員が付き添い、安全に配慮しております。	建物の構造上、完全なバリアフリー化は難しいですが、今後も支援が必要な児童に合わせて配慮しながら対応してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		衛生管理を徹底し、毎日、児童の退所後に清掃・消毒を実施しております。また、活動内容に応じて机や椅子を移動し、安全に過ごせるスペースを確保しております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		その時の状況や児童の特性に応じて、適切な環境設定をおこなっております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		業務が効率よく進むように職員同士で考え、意見を出し合い、業務改善に努めております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開し、玄関に掲示しています。また保護者様のご意向を職員で共有し、今後の改善として話し合っております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		日々、職員で改善点を話し合ったり、会議を実施したりして、より円滑で充実した業務を目指しております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	現時点では第三者評価は実施できておりませんが、	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		年間計画に沿った定期的な研修を実施し、県などが主催する研修や講演会などに参加するよう努めております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		公式Webサイトにて公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		定期的アセスメントを実施し、児童の状況や保護者様のご意向を踏まえ、児童の現状と今後の課題に沿った計画を作成しております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		支援に関わる全ての職員が日々話し合い、検討しております。	
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		個別支援計画を踏まえ、全職員が共通認識をもち、支援に取り組んでおります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		その日その日にあったことを記録に残したり、職員間で共有したりして、確認しております。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		ガイドラインや支援内容を踏まえたうえで考慮し、設定するように努めております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		有資格者がそれぞれの立場から意見を出し合い、児童の年齢や特性に合わせたプログラムをチームで立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		全職員で意見を出し合いながら、季節が感じられるような製作活動やイベントを取り入れて、固定化しないように工夫しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		一人ひとりの特性に応じ、個別・集団での活動を組み合わせ、保護者様のニーズに応じて計画を作成しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝礼・昼礼時に支援内容や役割分担の確認などを職員間で話し合い、情報共有をおこなっております。	
	21	支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	6		支援終了後は送迎などで難しい面もあり、当日の支援の振り返りや気づいた点は翌朝の朝礼時に全職員で共有しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		記録には支援内容だけでなく、その日の体調や様子、気づいた点や気になることを合わせて記入しております。また、職員間で情報を共有して支援の改善や検証に取り組んでおります。	
	23	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的モニタリングをおこない、現状を把握して見直しの必要性を判断しております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		担当者会議には、児童発達支援管理責任者が参画しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		関係機関と連携を図り、統一した支援が行えるように努めております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		担当者会議や相談員さんを通して支援内容などの情報共有と相互理解を図り、支援が統一されるように努めております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		就学前の担当者会議を通して、支援内容などの情報共有と相互理解を図り、支援の方針が統一されるように努めております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		6	現在、地域の児童発達支援センターとの連携を図る機会はありません。	今後、研修の機会があれば参加し、連携を図ってまいります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6	個人情報保護のため、保育所等との交流はしていませんが、同じCOMPASSの事業所と交流する機会を設けています。	個人情報保護の観点により、要望があれば考慮し、機会を設けてまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		連絡帳や送迎時などで、その日その日の状況や課題を共通理解できるよう努めております。	
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	日々、保護者様と連携を図り、支援方法など提案しております。	家族等の参加できる研修の機会や情報提供については、今後要望があれば検討してまいります。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。			分かりやすく、丁寧に説明できるよう努めております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		事前に連絡を取り、予定を立ててモニタリングの時間を設けております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		保護者様から支援計画にサインをいただいたうえで、支援を実施しております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		家族支援などの時間を設け、保護者様のお気持ちに寄り添いながら、必要な助言を行い、支援につなげております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6	保護者会を実施できておりません。	要望があれば、実施を検討してまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		相談や申し入れがあった場合は、迅速かつ適切に対応できるよう努めております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月おたよりを作成し、発信しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		児童とは一人ひとりに合わせた情報伝達ツールを用い、分かりやすく情報を伝達できるようにしております。保護者様とは、日頃から、お互いの情報がスムーズに交換しあえるような関係性の構築に努めております。	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6	事業所行事に地域住民を招待する企画は実施できておりません。	個人情報保護の観点により、保護者様のご意向をうかがいながら考慮してまいります。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		年間計画に基づき、実施しております。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的避難訓練を実施しているか。	6		定期的避難訓練をおこなっております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		社内で標準化されたアセスメントツールを使用し、状況を把握しております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		保護者様と情報共有をおこない、医師の指示書に基づく対応をしております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画に基づき、研修や訓練などおこなっております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。			安全計画に基づいた研修や訓練などをその都度保護者様へ周知しております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	6		ヒヤリハット報告書を作成し、職員間で共有しています。またファイルに保管し、事例を振り返り、再発防止に努めております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		定期的な職員研修を実施し、虐待防止への理解、意識向上に努めております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		生命または身体を保護するためにやむを得ず必要となる場合には、保護者様の同意を得た上で支援計画に記載するようにしております。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体でおこなった自己評価です。